

EVトラック・ バスの性能実証

宮古市でオリコンサルら

オリエンタルコンサルタンツは、国内商用車メーカーの電動化市場への参入支援を目的とした、実証用電動トラック・バスを使用した性能評価実証事業に取り組む。同社を代表事業者に、みちのりホールディングス（東京都千代田区）、フラットワールド（神奈川県厚木市）、丸紅、丸紅ブラックス（東京都文京区）、東芝の6社による共同事業体を組成。岩手県宮古市の協力を得て3カ年にわたって実証実験を進める。

環境省水・大気環境局自動車環境対策課が公募した「令和3年度電動トラック・バス

における性能評価実証事業」に採択された。EVバスで経年使用した蓄電池のEVバス継続利用における寿命・その後の利活用における最終寿命を見える化（定量化）することで、長期間安心して利用できるEVバスの仕組みを生み出し、経済優位性を実証することで国内のEVバス普及促進を図る。

この目標を達成するため、「蓄電池のライフタイムコスト低減およびバスのEV化の総合検証」を基に、「ビジネスモデルの仮説を立て、「適切な劣化診断による蓄電池の性能把握」と「長期利用の検証」を進め、「経年使用後の蓄電池の実用的な用途を明確」にすることで国内EVバスの経済優位性を実証する。さらにリースやカスケード利用などを総合的に取り入れたビジネスモデル検討を今回の実証での達成目標としている。